

1日目/2日連続・大潟村

斑点米とネオニコチノイド系農薬 を考える大潟集会

参加無料

毎年夏、斑点米カメムシが問題になり「徹底防除」が叫ばれています

本当に防除が必要なのか？

ネオニコチノイド系殺虫剤の問題点は？

スタークルなどネオニコチノイド系殺虫剤は、ミツバチの大量死や野鳥の繁殖率低下、人体（特に小さい子ども）の神経伝達物質の攪乱を招く疑いが出るなど、新たな問題が報告されています。EUが2013年12月から2年間、暫定的に3種の使用を禁止し、世界的に関心が高い農薬です。

問題を解決するため、参加団体と参加者で話し合います

内容：1. 報告 ①ネオニコチノイド系農薬の実態

- ・日本消費者連盟
- ・食政策センタービジョン21

②等級価格差600円の仕組み

2. 意見交換

参加者：一般参加、消費者団体、農業者団体

日時 3月2日 午後2時から

会場 サンルーラル大潟

主催 米の検査制度を良くする会

後援 美しい八郎湖を次代に残す会、日本消費者連盟、
ネオニコチノイド系農薬中止を求めるネットワーク、食政策センタービジョン21、
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

連絡先 今野茂樹 090-1066-8464 丹野敏彦 川崎幸江 齊藤知視

2日目／2日連続・秋田市

斑点米とネオニコチノイド系農薬

を考える秋田集会

一般参加歓迎

毎年夏、斑点米カメムシが問題になり「徹底防除」が叫ばれています

本当に防除が必要なのか？

ネオニコチノイド系殺虫剤の問題点は？

スタークルなどネオニコチノイド系殺虫剤は、ミツバチの大量死や野鳥の繁殖率低下、人体（特に小さい子ども）の神経伝達物質の攪乱を招く疑いが出るなど、新たな問題が報告されています。EUが2013年12月から2年間、暫定的に3種の使用を禁止し、世界的に関心が高い農薬です。

問題を解決するため、参加団体と参加者で話し合います

内容：1. 報告 ①ネオニコチノイド系農薬の実態

- ・日本消費者連盟
- ・ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議
- ・食政策センタービジョン21

②等級価格差600円の仕組み

2. 意見交換

参加者：一般参加、消費者団体、農業者団体

秋田県農林水産部（予定）、秋田県病害虫防除所、全農秋田米穀部（予定）

日時 2014年**3月3**日（月）午後1時から3時まで

会場 秋田市中央公民館（秋田市文化会館内）「**サンパル秋田**」

共催 米の検査規格の見直しを求める会・日本消費者連盟

後援 美しい八郎湖を次代に残す会、ネオニコチノイド系農薬中止を求めるネットワーク、食政策センタービジョン21、ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

連絡先 日本消費者連盟

東京都新宿区西早稲田1-9-19-207 電話: 03-5155-4765

Email: office.j@nishoren.org